

U1 アメリカンフォークキャニオン(ユタ)

アメリカンフォークキャニオン(以後アメフォ)も多くの日本人を迎えており説明も不要かもしれない。アメフォは80年代後半ヨーロッパに追いつけ追い越せと当時アメリカ国内では珍しかった石灰岩にボルトが打たれ、一躍脚光をあびた場所である。実際多くのクライマーがソルトレイクに集まり、プーンスピードなどのクライマーを育ててきた。90年代に入るとコロラドのライフルなどが開拓され多くのクライマーはそちらに流れて行った。また最近ではレキ岩で有名になったメイプルキャニオンなども開拓されずっかり影が薄くなってしまった。しかし昔ほどではないにしても多くのクライマーを現在も向かえている。今回新しくなったトポの表紙に登場したメリール ピーターとレッドロックスと一緒に登る機会があった。彼も言っていたが、まだまだ面白いリルトが開拓されているとのことであった。私も91年と94年そして98年に訪れたが91年の時の様なリルトの順番待ちもなく思う存分楽しむことができた。岩と雪150号に杉野氏が詳しくレポートしているのでそちらも参照されたい。

岩質
石灰岩

ルート

川を挟んだ両岸に幾つものエリアがある。高さは短い10m以下のものから25mのロングルートまである。傾斜も垂直からオーバーハングやルーフまであらゆるタイプのルートが揃っている。ただ石灰岩と言っても比較的柔らかい部分が多く見た目も汚い。開拓時にはバールでもろい部分をたたき落としてから作られたルートが多いと聞く。しかし現在はほとんど安定している。グレードも易いものから5,14台までまんべんなく揃っていて、どのレベルの人でも楽しめる。グレードはかなり甘目。エリアも幾つかあるがその中でもディビジョン、ヘルケイブ、ピルボードエリアは特にお進め。またエリアどうしがそれほど離れていないので日向と日陰などうまくアレンジして移動しても良い。

ディビジョンウォール

アメフォに来たクライマーがまず始めに訪れる。エリアはキャンプ場のすぐ後ろにあり、テントを出て1分で取り付ける。エリアは大きく分けると右面と左面に分けられる。右面は垂直の好ルートが多く揃っている。中でもエリア名にもなっているディビジョン 5.11dは特にお進め。左面は比較的短いリルトが多い。アピス 5.12c などがお進め。またアピスから上に5分踏み後をたどると小さなケイブがあり5.12 クラスの面白いリルトがある。

ヘルケイブ

アメフォの代表エリア。ここはヘル(地獄)と呼ばれるケイブがある。このケイブ内に幾つもの高難度ルートがひしめいている。ただルートとリルトをつなげて登るラインが多く、ルート図も実際のルートも網の目状態である。ケイブの外にも前傾の高難度のショートルートが幾つか築かれている。ケイブ内のルートはガバをくぐり引き付けて登るのに対し、ケイブの外のルートはボリダグ的な指先とムーブのルートである。ケイブ内は一日中日陰。雨でもok。」

ピルボードウォール

アプローチが急登20分かかると難点だが、1度は訪れる価値がある。エリアは2箇所あり1つは高難度のそろろレーフのエリア。そしてもう1つが25mの垂直のエリア。ここは垂直ではあるが随所にポケットがありそのどれも面白い。グレードも5.11 から5.12前半まで。

ハイドアウェイ

ここはアメフォの中でも比較的新しく開拓されたエリアで93年から開拓された。私は訪れていないのだがかなり面白いらしい。ここアプローチはあるがグレードも5.9 から5.13 まで40本ほどのルートがある。

宿泊

キャンプ場はキャニオン内にある。設備はまあまあだが、シャワーがないので他に浴びに行かなければならない。1日1サイト11ドル。モーターならソルトレイクよりプロボの街のほうが近い(25分)。ソルトレイクからは40分ほど。

シーズン

春から秋。真夏でも十分楽しめる。ベストは9月10月。5月の日本のゴールデンウィークの頃はまだ雪があったりしみ出していたりあまり条件は良くない。

ショッピング

アメリカンフォークの町にスーパーがある。マウンテンショップはアメフォとプロボの間にも幾つかあるが、ソルトレイクのブラックダイヤモンドが一番良い。トボも新しくなった。

アプローチ

SOLT LAKE CITY からI-15号を南に向かう。約30マイルほど走りExit 87で降りる。そして92号を東へ10分も走ればAMERICAN FORK CANYONNに着く。ディビジョンなどへは昔はキャンプ場内に車を入れることが出来たが、現在は2ドル必要。その為川の対岸の路肩に止め、すこし大回りか歩かなければならない。さらにこの公園も入園料を3ドル取り始めた。そのため長期間の場合は年間パスを買うこと。